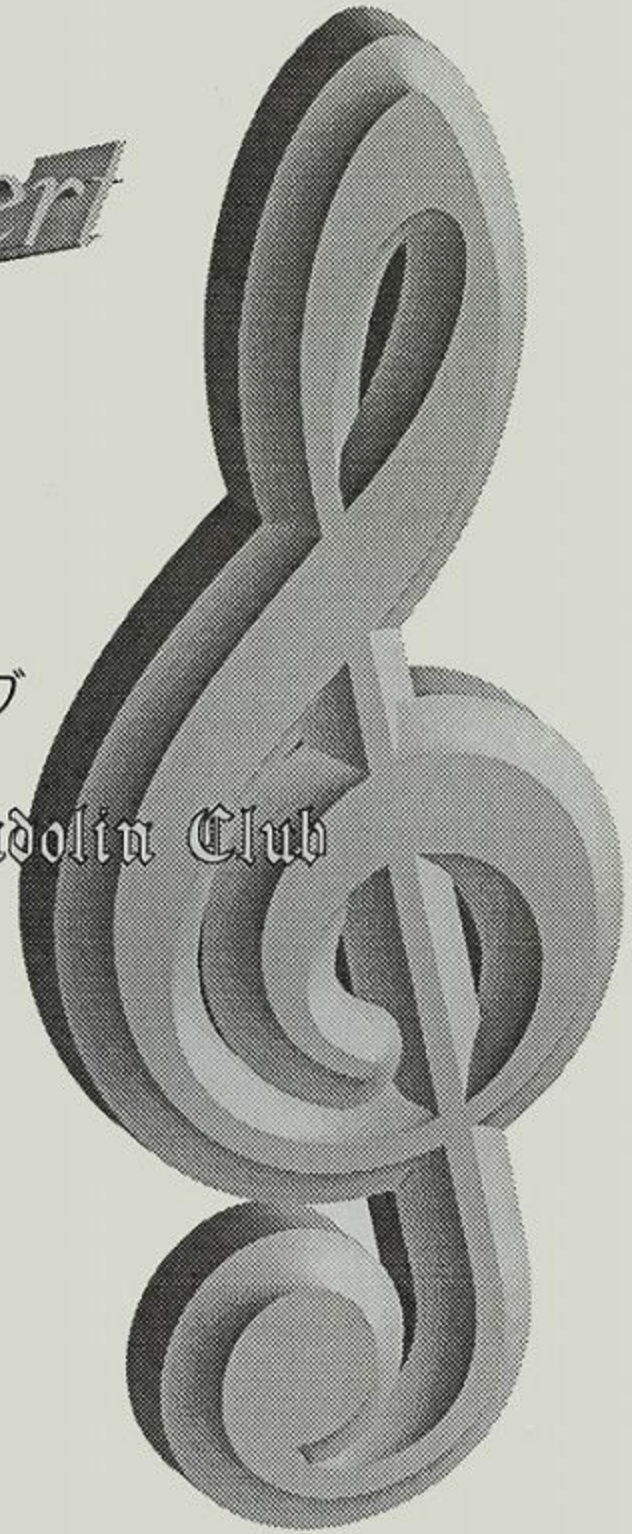


37th Concert

岩国市民マンドリンクラブ

Iwakuni Citizen Mandolin Club



平成6年9月11日(日) 13時30分開場14時開演

岩国市民会館大ホール

後援：岩国市教育委員会

岩国市文化協会

PROGRAM

1 Stage

ジュラシックパーク	ジョン・ウィリアムス
戦場のメリークリスマス	坂本龍一
嵐が丘	坂本龍一
ブレードランナー	ヴァンゲリス
シンドラーのリスト	ジョン・ウィリアムス
Mandolin Orchestration	大浜芳樹 尾園勝善

2 Stage

シシリアの思い出	サルバトーレ・レオナルディ
愛の挨拶	エドワード・エルガー
小人の踊り	ラファエル・カラーチェ
タイスの瞑想曲	J・マスナー
幻想的円舞曲	E・マルチェルリ
Mandolin Solo	田村隆司



3 Stage

マンドリンオーケストラのための組曲

「見知らぬ大地へ」

- 一楽章 出航（たびだち）
二楽章 憧れをのせて
三楽章 時の行方
四楽章 夢を歴ぐものたち

作曲 尾園勝善

解説 「見知らぬ大地（くに）へ」 ～尾園勝善 作曲

'93年夏に作曲された物語風の組曲で、同年12月11日ノートルダム清心女子短期大学マンドリンクラブによって初演された。

第1楽章「出航(たびだち)」

水平線の彼方の、見知らぬ大地への出航の情景を描いたもの。薄明るくほんやりした感じで曲が始まるが、ほどなくして弾むような旋律が現れる。

第2楽章「憧れをのせて」

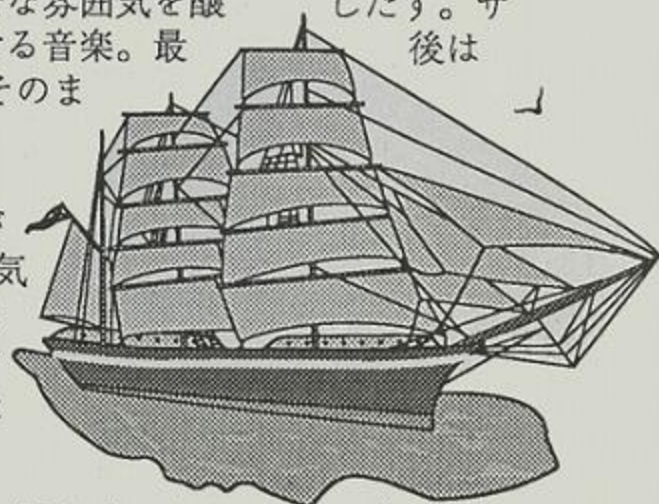
冒頭、低音部に流れるようなテーマが現れ、これに躍動的な高音部のパッセエジが重なり、頂点に達する。中間部では、速度を落として、冒頭のテーマを引きのばしたような形で歌いあげる。

第3楽章「時の行方」

不協和音を多く用いることで、神秘的でかつ不安な雰囲気醸成しだす。その後、サバドール・ダリの「記憶の固執」を思いださせる音楽。最終的にはRe(レ)の音を引きのぼしながらクレッシェンドし、そのまま終曲へ。

第4楽章「夢を歴(つ)ぐ者たち」

全曲のクライマックス。冒頭の息の長い主題が印象的。中間部では、暗澹(あんたん)とした雰囲気のもとで冒頭主題が形を変えてあらわれ、訴えるような表情にかわっていく。楽章を通じて、テンポの大きな揺れと彫りの深い表現を味わっていただけならと思う。(杉山和人)



MEMBERS

Conductor 尾 園 勝 善
Concert Master 末 岡 成 基
Mandolin Solo 田 村 隆 司
Piano 石 村 円

(○はパートリーダー)
 (Pは岩国高校プレクトラムアンサンブル)

1st Mandolinn

○牧 田 むつ子 田 村 隆 司
 上 田 賀 子 渡 辺 泰 學
 山 根 悦 子 西 見 千 栄
 西 本 恵 子 田 内 映 子
 (P2年) (P2年)

Mandola Tenore

○貴 船 宏 子 浜 田 純 子
 高 島 信 人 川 崎 哲 也
 蔵 本 敦 子 松 浦 五 月
 中 村 牧 子 中 部 祐 子
 (P2年)

Guitar

○杉 山 和 人 末 岡 成 基
 金 丸 孝 子 末 岡 裕 美
 松 井 亨 景 米 田 隆
 原 田 寛 石 原 健 臣
 陰 岩 しおり 宮 田 真理子
 (P2年)

2nd Mandolin

○岡 崎 美由紀 大 浜 芳 樹
 野 村 佳津恵 坂 井 和 子
 三 上 順 子 足 立 俊 江
 加 村 裕 子 菱 川 真 輔
 菱 川 あゆみ 鳴 瀬 めぐみ
 新 川 絵 奈 (P1年)

Mandobello

○金 丸 眞 明 山 根 悦 子
 石 川 善 久 中 里 文 昭

Contrabass

○中 村 由 哉 山 根 義 昭
 大江由 紀 子

Percussion

○村 岡 直 美 清 水 照 枝
 藤 田 尚 美 吉 本 屋 政 幸



profile

田村隆司(マンドリン)

1950年 岩国市生れ。

1966年 岩国高校入学、

フレクトラムアンサンブルに入

部する。当初マンドセロを弾いてい

たが、故熊谷幹雄先生に見初められ

(本人談)、マンドリンに転向。毎週特

訓を受ける。

1969年 山口大学生時代から在籍してい

た岩国市民マンドリンクラブの中心メンバーとし

て本格的に活動を始め、「マンドリンきちがい」を

略した「マンキチ」の異名を欲しいままにする。

1974年 第4回全日本マンドリンソロコンクール

で、絃4本を切りながらも(!)第3位に入賞。

1975年 ギタリスト西垣正信氏に師事。

1976年 第5回全日本マンドリンソロコンクールで第1位

となる。各地でリサイタル活動を行なう。その後・・・最近の本業

(サラリーマン)が忙しくなり、半冬眠状態となる。が、実は毎日夜遅く

なっても必ず楽器に触る日々が続いていた。
1994年 ソリストとしては久しぶりに第37回定期演奏会のステージ

を飾る。徳山市在住。演奏技術は勿論のこと、その人間的な魅力でもって周囲

の人の心をとらえて離しません。

石村 円(まどか)

島根大学特別音楽課程ピアノ専攻卒業。

現在、十字堂楽器店(徳山市)ピアノ講師。伴奏者としても活躍。

クラブの素顔

現役メンバーは約30名。その職業は、会社員、銀行員、公務員、主婦、看護婦、薬剤師、教師、僧侶、社長、青年実業家、主夫兼作曲家兼ピアノ調律師、広島カープ私設応援団員、etc.と実に様々です。年齢層は・・・ステージ上の面々からご想像下さい(バラすと怒られるの)。

練習は月4回、中央公民館で行なっています。通常の練習日は出席者も10人前後でのんびりしたものです。何回叱られても、馬耳東風というか馬の耳に念仏というか(私達ってみんな馬だったのかしら)、指揮者のイライラはつのも一方。そして毎年のことながら、夏の合宿の頃になって急に人数も増え、エンジン全開となるのです。

こんな私たちですがメンバーに共通しているのは、みんな音楽が大好きで、合奏が楽しくてたまらない、ということです。今日の演奏を聞いて興味をもたれた方、是非一緒に楽しんでみませんか?
初心者・経験者を問わず大歓迎です。

(連絡先: 31-3128 尾園)



もち 赤飯 慶弔饅頭
学校給食指定工場

春田製パン (有)

岩国市大字多田1124番地
Tel(0827)41-0441

(株)ニックテクノ

岩国市旭町1丁目13-38
Tel 24-1371

遊と理

ゆとり

MCC

Matsuya Creative Coporation

松屋産業株式会社
株式会社エムシーシー
株式会社松屋総合研究所
〒740 岩国市室の木町1丁目7-4 5
TEL 0827-22-2211 FAX 0827-22-2218

おかあさんがついていなくてもたのしくできる

あつぷる音楽教室

こんどう楽器

ピアノ・テクニトーン・ヴァイオリン・大正琴

岩国市元町2-1-18 Tel22-4408

一般建築・設計・施工/一級建築士事務所

クラオカ工務店有限公司

〒740 岩国市砂山町2丁目1-4 TEL(0827)24-0789(代)
FAX(0827)24-0790

談

岩国市麻里布町6丁目3-18
ラ・フォーレセーヌビル3F
Tel (0827) 23-1232

宝石貴金属加工・時計・眼鏡

MH 向田宝石店

岩国市山手町4丁目3-14
TEL (0827) 21-1600
FAX (0827) 21-0073

バイク&自転車



岩国駅前通り TEL21-1960
(定休日:火曜日)